



教研集会のご案内

組合員の皆様、ご苦労様です。書記長の松本一郎です。早いもので、師走の足音が聞こえて参りました。

さて、今年度も教研集会の時期が近づいてきました。今年は、要求集約を支部と中執とが協力して行うなど、有機的で組織的な取り組みが実現しております。今年の教研集会では、この組織的な取り組みと法人化後3年を迎えた大学の現状とを勘案し、今後進むべき私たちの労働条件の様々な問題について議論したいと考えています。

現在、決まっている「教研集会」の概要を下記に示しますので、多くの皆様の参加と熱い議論で、集会を実り多きものにしたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

記

平成 18 年度島根大学職員組合教研集会

テーマ：「法人化後 3 年を迎えて -要求集約アンケートからみえる問題点-」（仮）

日 時：12月22日（金）18：00～20：00

場 所：未定（大学会館で調整中）

内 容：1：中央執行委員会からの挨拶とテーマ設定の説明（5分程度）

2：テーマに沿って、各支部・専門部からの発表（各15分以内）

3：総合討論



以上

※なお、終了後に懇親会（忘年会）を行う予定です！ふるってご参加下さい。

要求集約月間 その後

組合では、10月いっぱい要求集約月間として、各支部、専門部にも協力をお願いして、集会の開催、アンケートの実施、デスクの設置、学習会の開催、などを集中的に取り組みました。

5支部での集会、1支部での学習会、中央執行委員会としての学習会、が開催され、全支部でアンケートに取り組み（一部遅れ11月実施）ました。その結果、アンケートの回答は約475通（配布数1299通；回収率36.6%；ただし暫定値）集まりました。

アンケート結果で特徴的なのは、大学運営に対する不安、不満が大きいことで、「法人化後の大学運営に問題を感じている」職員が52.7%（暫定値；以下同じ）、「島根大学をいい大学だと思う」職員がわずかの21.4%、そして、多忙化を反映して「健康不安を感じることもある」職員が65.7%という高率なもの目立ちました。

(裏面に続く)

今回は、各支部の独自の質問事項なども付けていただき、また集会でのご意見などもあわせて、それぞれの職域、職種ごとの実状にあわせた要求事項が明確になってきました。

例えば、

- ・サバティカル制度の導入による教員の研究、リフレッシュ時間の確保
- ・教育経費の確保
- ・教育環境の基盤の充実
- ・超勤の解消
- ・事務機構の改革の実質化
- ・個人評価の評価者の資質の向上
- ・非常勤職員の種々の労働条件改善



などです。

中央執行委員会ではこれらの結果をもとに重点要求項目(案)の第1次案を作成し、現在、各支部での討議に入っています。各支部長、支部役員等と相談して、ぜひ修正意見を出して下さい。

11月28日開催予定の次回中央執行委員会会議でさらに検討をし、第2次案を全組員へお知らせし、討議をお願いするとともに、組合の議決機関での議決を目指します。

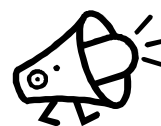
その上で、大学側との団体交渉での要求実現を勝ち取っていきます。組合の力でより良い労働条件と良い大学の実現を目指しましょう。

映画鑑賞補助券発行準備中！

お正月映画向けの映画鑑賞補助券を発行します。詳細は後日お知らせします。お楽しみに。

2006年度中央執行委員会 活動だより(11/2~11/18)

- 10/28：第56次教育研究島根県集會に竹永委員長がメッセージを送りました。
- 11/2：人事労務課との事務折衝(竹永委員長、長山書記次長)
- 11/3、4：全大教労働セミナー・全大教単組代表者會議(東京)(竹永委員長発表)
- 11/8：くみあいニュース第7号発行
- 11/9：県国公幹事に竹永委員長が出席しました。
- 11/13：松江地区事業場過半数総代表に竹永三男(組合委員長)が選任されました。
- 11/14：第10回中央執行委員会
- 11/18：組合主催 支部対抗ソフトボール大会 34名参加



農場だより

今回の農場だよりも神西砂丘農場よりお届けします。神西砂丘農場では、今月に入り、キウイフルーツの収穫を行いました。農場では「香緑(写真右)」「ヘイワード(写真左)」の2品種が栽培されています。「香緑」のほうが少し俵型です。キウイフルーツは収穫後、「追熟」をして販売されます。追熟を行った果実は甘く、軟らかくなります。私の個人的意見ですが、農場のキウイフルーツは、市販されているものと比較してかなりおいしいと思います。私の知人での評判も良いです。皆さんも一度、お試しください。

